

公益社団法人 桐生青年会議所 映画祭事業 —第9回きりゅう映画祭制作映画(きりゅうシネマ) 作品制作者募集—

公益社団法人 桐生青年会議所は、きりゅうの魅力映画で全国に発信するため、映画の制作希望者に資金(奨励金)を援助します。

1 上映・使用について

制作された作品は、2019年9月29日(日)に開催予定の「第9回きりゅう映画祭」にて上映します。

また、各映画祭後、桐生市、みどり市のプロモーション用途による使用、及び映画祭関連イベント、関連メディアでの使用を予定しています。

2 支給対象者

2名

3 奨励金の額

1作品当たり70万円(税込)を支給します。

4 奨励金の用途

(1)制作企画費 脚本制作費(調査資料、台本印刷、旅費、宿泊費)

(2)人件費 スタッフ人件費、キャスト出演料

(3)制作費 フィルム、テープ関係費

(フィルム、テープ代、現像料)

※撮影フォーマットに制限はありません。

撮影費(撮影機材借り上げ料)

損害保険料

照明費(照明機材借り上げ料)

ロケ費(旅費、交通費、宿泊費)

美術費(大道具、小道具、衣装、メイク)

音楽費(著作権料)

録音費(スタジオ、音響効果、使用料)

仕上費(編集)

字幕翻訳・編集費

トレーラー制作費

※メイキング映像制作は必須ではありませんが、制作いただいた場合は、映画祭公式ウェブサイトやパブリシティの際にプロモーション素材として紹介させていただきます。

5 脚本の条件

(1)ストーリー性のあるもの

(2)ロケ地の大半が桐生市内、みどり市内であるもの

(3)エキストラとして多くの桐生市民、みどり市民を起用するもの

(4)桐生市、みどり市の魅力を高めるもの

(5)未発表であるもの

(6)作品の時間は原則10分以上30分以内のもの(エンドクレジット含む)

※ジャンルは問いません。

※表現内容に関して:基本的には自由ですが、「映画倫理管理委員会」定める「映画倫理規定」の基準を満たすものとし、法令・公序良俗に反する表現は避けてください。

※きりゅう映画祭スポンサー以外の特定企業の広告につながる露出を避けてください。

(7)きりゅう映画祭スポンサーである携帯電話会社の要望シーン(例:携帯電話使用シーン等)を盛り込めるもの

6 その他

- (1)企画選考により決定された制作者は、(公社)桐生青年会議所と、作品制作に関する契約書を締結します。
- (2)自己資金のほか、共同制作者など第三者の資金と本奨励金との併用も可とします。
- (3)要望に応じ市内ロケ地の案内、その他制作に必要な桐生市、みどり市に関する情報提供に協力します。
- (4)制作決定者には、ロケ地管理者との取次ぎ、撮影許可の手續支援、市民エキストラ募集、宿泊施設やロケ弁の斡旋などに協力します。
※人的支援については制作者と(公社)桐生青年会議所が協議の上、可能な範囲で対応します。
- (5)制作者において撮影時に人的・物的損害が発生した場合に備える損害保険への加入を義務とします。
- (6)(公社)桐生青年会議所は、本作品に関する著作権(著作権法第 27 条及び第 28 条に規定される権利を含む)、所有権その他一切の財産的権利を、地域、範囲、期間の何等制限なく、制作監督に譲渡します。
なお、(公社)桐生青年会議所は、制作作品に関して、その活動において上映等、自由に使用する権利を有します(ただし、インターネット公開は除きます)。制作作品を(公社)桐生青年会議所が使用する場合は事前に制作監督にご連絡します。
- (7)制作作品は、第 9 回きりゅう映画祭後、1 年間インターネット公開は避けてください。
- (8)作品に使用する楽曲は、制作者が演奏シンクロ(映画録音)及びサウンドトラックの権利を含む権利を、申請し、各管轄に許諾をうけたもののみを使用するものとし、(公社)桐生青年会議所及び各映画祭がいかなる支払い義務を負うことのないものとしてください。
- (9)制作作品は制作者の負担により、国内外で開催される 1 以上の映画祭、コンテスト等に出品してください。
- (10)作品と同時にトレーラーを制作し納品してください。
- (11)2019 年 9 月 29 日(日)に行われる第 9 回きりゅう映画祭にて制作者として登壇してください。

7 納期とスケジュール

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| (1)企画提出締切 | 2018 年 12 月 25 日(火)必着 |
| (2)選考・制作者決定 | 2018 年 12 月 26 日(水)～2019 年 1 月下旬 |
| (3)脚本・撮影準備 | 2019 年 1 月下旬～2019 年 3 月 |
| (4)撮影 | 2019 年 3 月～2019 年 8 月 |
| (5)編集・納品 | 2019 年 8 月 31 日(金)厳守 |
- (納品形態:データ及びブルーレイディスク)

【企画選考への提出物】

- 作品企画書
撮影候補地(学校、公園、店舗等)
- 制作予算書(奨励金の使用用途を記載)
- 制作スケジュール(希望撮影月も記載)
- 制作スタッフ、キャスト案
※(公社)桐生青年会議所より、別途、キャスティング案をご提案する場合があります。
- 監督プロフィール(制作歴、受賞歴など)
- 過去の制作作品 DVD 及びデータ
※ショートフィルム以外の作品(CM・MV 等)も含みます。
- 応募用紙

8 審査方法

(公社)桐生青年会議所 きりゅう映画祭委員会及びきりゅう映画祭運営推進会議メンバーにより、厳正なる審査を行います。

9 情報提供に関する問い合わせ、また企画書送付先

公益社団法人桐生青年会議所事務局

〒376-0035 群馬県桐生市仲町 2-9-36 桐生倶楽部内

担当 丹羽 律人(にわ のりひと) TEL 0277-46-3777 FAX 0277-46-3776 mail kiryucinema@gmail.com

過去のきりゅうシネマ 作品情報

第1回きりゅう映画祭(2011年)

『また、あした』 監督:近藤和彦 主なロケ地:伊東屋珈琲、西桐生駅

人に服を作ることで、普段とは違う気持ちになってもらうことに喜びを感じる少女・ハナ。

変わることを恐れている象の飼育係・忠志のカーディガンをハナがリメイクしてしまったことで予期せぬファンタジックな再開が…。

『蒼い手』 監督:中江和仁 主なロケ地:織物参考館・紫(ゆかり)、高津戸橋

3歳の息子を連れ、法事のために10年ぶりに実家に戻った由樹子。

藍染を生業とする実家では、父も弟も手が青く染まっている。

突然帰ってきた娘につらく冷たくあたる両親に由樹子は帰ってきたことを後悔し始めるが、実家に泊まる羽目に。眠れない由樹子は、実家とは自分にとって何なのかを問い始める。

予告編: <http://www.youtube.com/watch?v=IcLQtw7TZf0>

『桐生の風』 監督:栗城弘一郎 主なロケ地:有鄰館、水道山公園

夏祭り「八木節ダンス大会」で優勝を狙う結、斬新なダンスを生み出そうと結を手伝う幼馴染の真哉と清正。

新しい八木節の創作に力を合わすが、そんな折、同じ街で共に育ってきた3人に分岐の時が訪れる。

3人の回りを吹き去る桐生の風は、それぞれを思い出の1ページと変えて行く…。

『MIRROR a Documentary film of UNDERCOVER』 監督:永戸鉄也 主なロケ地:桐生市立東小学校周辺、末広通り周辺

桐生出身であるUNDERCOVER デザイナー、高橋氏の仕事を追ったドキュメンタリーフィルム。

パリコレまでの3カ月間を追う。使用される洋服は桐生の生地や刺繍も用いているので、

市内の工場の中なども含め撮影された。

予告編: <http://www.youtube.com/watch?v=McX2CEhGou8>

第 2 回きりゅう映画祭(2012 年)

『桐生人』 監督:Yuki Saito 主なロケ地:後藤織物、錦町アーケード通り

群馬県桐生市で代々続く織物工場を営んでいる哲郎は、生まれてこの方、町から外に出たことがなかった。

しかし、娘の結婚式の前夜、哲郎は信じられない事実を知る。

変わらないことを美学として世界の中心で生きてきた頑固オヤジが、娘の結婚式を機に新たな一步を踏み出す。

予告編: http://www.youtube.com/watch?v=XXHK_8Rg3ic

『京太の放課後』 監督:大川五月 出演:清水美紗 主なロケ地:桐生西宮神社、矢野園

桐生市に住む 10 歳の少年、京太はシングルマザーの絹子とふたり暮らし。

彼には手放せない 2 つのアイテムがある。それは、使い古した英単語帳と防災頭巾。

そんなある日、京太の学校に、震災以来本国イギリスに帰ってしまっていた英語教師ティムが戻ってくる。

予告編: https://www.youtube.com/watch?v=rwIENvLEA_k

『水の足跡』 監督:金子雅和 主なロケ地:沢入駅、みどり市近郊の川

小中大滝桂戸の不動滝黒坂石川ほか山間の駅に、動物写真を撮るために降りたケイ。

3 日前その山で遭難した兄妹がいることを知り、直ぐに帰るつもりでいたが、点在する野生動物の足跡を辿るうちに、山奥に入ってしまう。

滝の前でシャッターを切った瞬間、目の前に現れたのは動物ではなく、二人の男女だった……

夏の自然の中、静かに記憶された交流の物語。

予告編: http://www.youtube.com/watch?v=sn_p8-s_U04

第 3 回きりゅう映画祭(2013 年)

『男爵花嫁』 監督:たじまなおこ 主なロケ地:岡直三郎商店、水沼駅温泉センター

武志がつれて帰ってき来た婚約者は、なんと!

15 年ぶりにヨーロッパから桐生へ帰郷した武志。

ヨーロッパの美女を連れて帰ってくると思い込んでいた家族の意と反して、武志が連れて帰ってきたのは…

予告編: <https://www.facebook.com/redrobot#>

『ある夜』 監督:深澤尚徳 主なロケ地:小島第一マンション、新川公園

62 歳の男性「高橋博司」は、妻の「さち子」を 5 年前に亡くして依頼、桐生市で 1 人暮らしを続けている。

妻の死後、博司は、息子ともうまく付き合うことができずに、1 人きりの生活を送っていた。

そんなある晩、博司が、いつものように 1 人で晩ごはんを食べていると、突然、博司の影が不自然に動き始める。

予告編: <https://www.facebook.com/kiryushortfilmfestival/videos>

第4回きりゅう映画祭(2014年)

『ひもかわラブソディ』 監督:中村佳代 主なロケ地:桐生駅、桐生が岡動物園

「せっかくほんとうの君が戻ってきたのに高飛びか。さよならだ。」「うん、さよならだ。」

男は最高のひもかわうどんを作らねばならなかった。

そのために風の吹く街桐生に帰ってきたのだ。でもグルメ映画じゃない!

桐生出身の監督・中村佳代が作り出した桐生出身の男の物語。ほぼオール桐生ロケ!

予告編: <https://www.youtube.com/watch?v=1qWKHweE1Ts>

『KI・RYU』 監督:川上信也 主なロケ地:群馬大学理工学部、桐生天満宮

群馬県桐生市の人々の間で龍を目撃したという情報が次々と寄せられる。

群馬大准教授の吉田マリは市民からの依頼を受け、なぜ龍が現れたのかりサーチを始める。

桐生の人々と龍の間には実は深い関係性があった…。

予告編: <https://www.youtube.com/watch?v=-Rkc5ItIcA0>

『名無しの幽子』 監督:齋藤雄基 主なロケ地:ながめ余興場、境野水処理センター屋上運動公園

実家に帰省した主人公、弘幸の家に突如現れた少女の正体とは…。

少女と弘幸の交流を通じて、弘幸の隠された過去が姿を現す。

桐生市・みどり市の夏を切り取った、心温まる物語。

第5回きりゅう映画祭(2015年)

『HERO SHOW』 監督:近藤巧 主なロケ地:桐生が岡遊園地、桐生川遊歩道

舞台は桐生が岡遊園地。お客さんが全く入らないのに低予算のヒーローショーを続ける主人公英雄。

夏のある日、そんな桐生が岡遊園地に悪の秘密結社が世界征服のために攻め込んでくることを知る。

しかし、遊園地の集客アップが出来るかもしれないと英雄と遊園地の従業員たちは悪の秘密結社との決戦当日をイベントとして利用しようと計画する。

世界が滅ぶかもしれないという現実から目を逸らし、英雄と遊園地の従業員たちは桐生市の人達を巻き込みながら、桐生のご当地ヒーロー「ジュバン」をパワーアップしていく。

集客アップの為にイベントを成功させたい遊園地の従業員たちと、世界征服を企む悪の秘密結社。

両者の思惑はすれ違ったまま決戦当日を迎える…。

予告編: <https://www.youtube.com/watch?v=X2HhThNZnoE>

『わたしのまち』 監督:丸山隆 主なロケ地:大間々中学校、上神梅駅、草木ドライブイン

みどり市で無邪気に過ごす14才の少女の初恋。

都会の生活にただただすり減ってゆく25才のOL。

目標を無くし実家へ戻ることを決めた32才の女性。

この映画は同じ町で生まれた年齢の違う3人の女性が織りなす群像劇である。

予告編: https://www.youtube.com/watch?v=ag_18j6obU

第 6 回きりゅう映画祭(2016 年)

『エクラド -あの空の向こうに-』 監督:加藤大志 主なロケ地:あずま小学校、シャロムの森
東京から桐生へと越してきた太陽。数年ぶりに顔を合わせた父親との間には大きな溝がある。
「桐生には龍がいる」そう言い切る父の話はいつも嘘のようだ。
そんなある日、同級生の太一と共に父から聞いた龍を探すため山へと入っていく。
予告編:<https://www.youtube.com/watch?v=2jv11glqeTA>

『墮ちる』 監督:村山和也 主なロケ地:後藤織物、ジョイタウン広場
無口で真面目な熟練の織物職人耕平が、ふとしたきっかけでローカル地下アイドル「めめたん」にハマってしまう。彼女のために衣装を作ることになり、新たな分野で奮闘する耕平。
職人の一途な想いは、彼女に届くのか？
予告編:<https://www.youtube.com/watch?v=X6hDtwaheGk>

第 7 回きりゅう映画祭(2017 年)

『リクエスト・コンフュージョン』 監督:マキタカズオミ 主なロケ地:桐生第一高等学校、広見橋河川敷
高校2年生の小峰佳奈美は数日後に迫った同人誌即売会のために漫画を描いていた。
即売会当日二次創作やBL系の漫画が多い中、オリジナルの格闘技物やヤンキー物を描いている佳奈美の漫画は全く売れず、行列が出来ているブースを悔しそうに見ている佳奈美。
すると、思いがけない人物を目撃する。同級生の妹尾健太郎、通称“狂犬”と呼ばれている不良だった。
翌日。健太郎から呼び出された佳奈美はある相談をされる。その相談とは
予告編:<https://youtu.be/KEXKi2u3giU>

『JK エレジー』 監督:松上元太 主なロケ地:桐生市立商業高等学校、桐生が岡遊園地
桐生市に住む高校3年生の梅田ココア。成績優秀だが、ギャンブル狂の父とニートの兄のせいで家庭は貧しく、将来に希望が見出せないでいる。そんなココアにはある秘密があった。
兄の友人のカズオに頼み込まれ「クラッシュビデオ」と呼ばれる怪しげなビデオに出演しているのだ。
ある時、大学に奨学金制度があることを知りココアは進学を目指すことに。
勉強に励む毎日、目標が生まれたことで充実した日々が始まった。
そんな時、校内にビデオ出演の噂が広まりー。
予告編:<https://youtu.be/lySI9BhC078>

第 8 回きりゅう映画祭(2018 年)

『家』 監督:大森歩 出演:花王おさむ 古川琴音 主なロケ地:桐生大学、丹羽家
元軍人のじいちゃんと二人暮らしをする、美大生のアミ。未来あるアミとは反対に、どんどん痴呆が進み子ども返りするじいちゃん。やがて、二人の感受性が交差する時が訪れる。
予告編:<https://youtu.be/x6j6XIBANKY>

『GOOD-BYE』 監督:畑井雄介 出演:須賀貴匡 主なロケ地:吾妻山
男は死ぬ場所を求め、森に入っていく。
森の中では静寂であるが故に、微かな物音でも気になってしまう。
誰もいない後ろを何度も振り返る。
そして、過去の自分を振り返る。
死ぬことを決意して入ったはずの森が、男の決意を揺るがせる。
この物語は、死ぬ場所を求めて彷徨う男が生きること葛藤する、生と死のロードムービーである。

